

国指定小笠原群島鳥獣保護区の更新作業について

1. 鳥獣保護区の更新

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律(鳥獣保護管理法)に基づき、環境大臣が指定する国指定鳥獣保護区は、存続期間が定められており、現行は平成 21 年 11 月 1 日から平成 31 年 10 月 31 日の 10 年間となっている。

来年 10 月に期限が切れることから、現状の野生鳥獣の動向や社会的状況等を踏まえ、存続期間の更新作業を行う。

2. 国指定小笠原群島鳥獣保護区の概要

- ・ 東京都の南方約 1, 0 0 0 k m の海上に散在する東京都小笠原村に属する聳島列島、父島列島、母島列島にわたる島からなる。
- ・ 大陸から遠く隔てられており、固有哺乳類はオガサワラオオコウモリ一種のみ。
- ・ 鳥類では、小笠原固有のハハジマメグロ、オガサワラノスリ、アカガシラカラスバト、オガサワラカワラヒワ等が繁殖しており、アホウドリ、クロアシアホウドリ、コアホウドリ、カツオドリ、オナガミズナギドリ、オーストンウミツバメ、アナドリ等も繁殖している。
- ・ カモ類、シギ・チドリ類、ツバメ類等の水鳥の渡来中継地になっている。
- ・ 国指定小笠原群島鳥獣保護区は、時雨ダムや自衛隊基地など一部の区域を除いて、各島のほぼ全域と一部の海域が保護区に指定されている。(別紙のとおり)

3. 鳥獣保護区の指定区分

希少鳥獣生息地

4. 区域設定の考え方の案

- (1) アカガシラカラスバトやオガサワラオオコウモリをはじめ小笠原固有の鳥獣の生息個体数は極めて少なく脆弱な個体群であること、亜熱帯気候の海域に適応した海鳥類の重要な繁殖地であること等から、これら希少鳥獣の安定的な生息地を保全するため、区域の存続期間を更新する必要がある。
- (2) 既に当該保護区は、小笠原群島のほぼ全域が指定され、保全のための区域が確保されているため、現行区域での更新を検討する。
- (3) 扇浦地区のオガサワラオオコウモリの保護上重要な地域の一部は、これまで同様、特別保護地区に指定することを検討する。また、オガサワラオオコウモリの保護上特に重要な核心地域についても、これまで同様、特別保護指定区域に指定することを検討する。また、扇浦地区の都道沿いのエリアでは、保全対象としているオガサワラオオコウモリのねぐらが指定区域に含まれていない場所があるため、当該区域等について特別保護指



定区域の拡張を検討する。

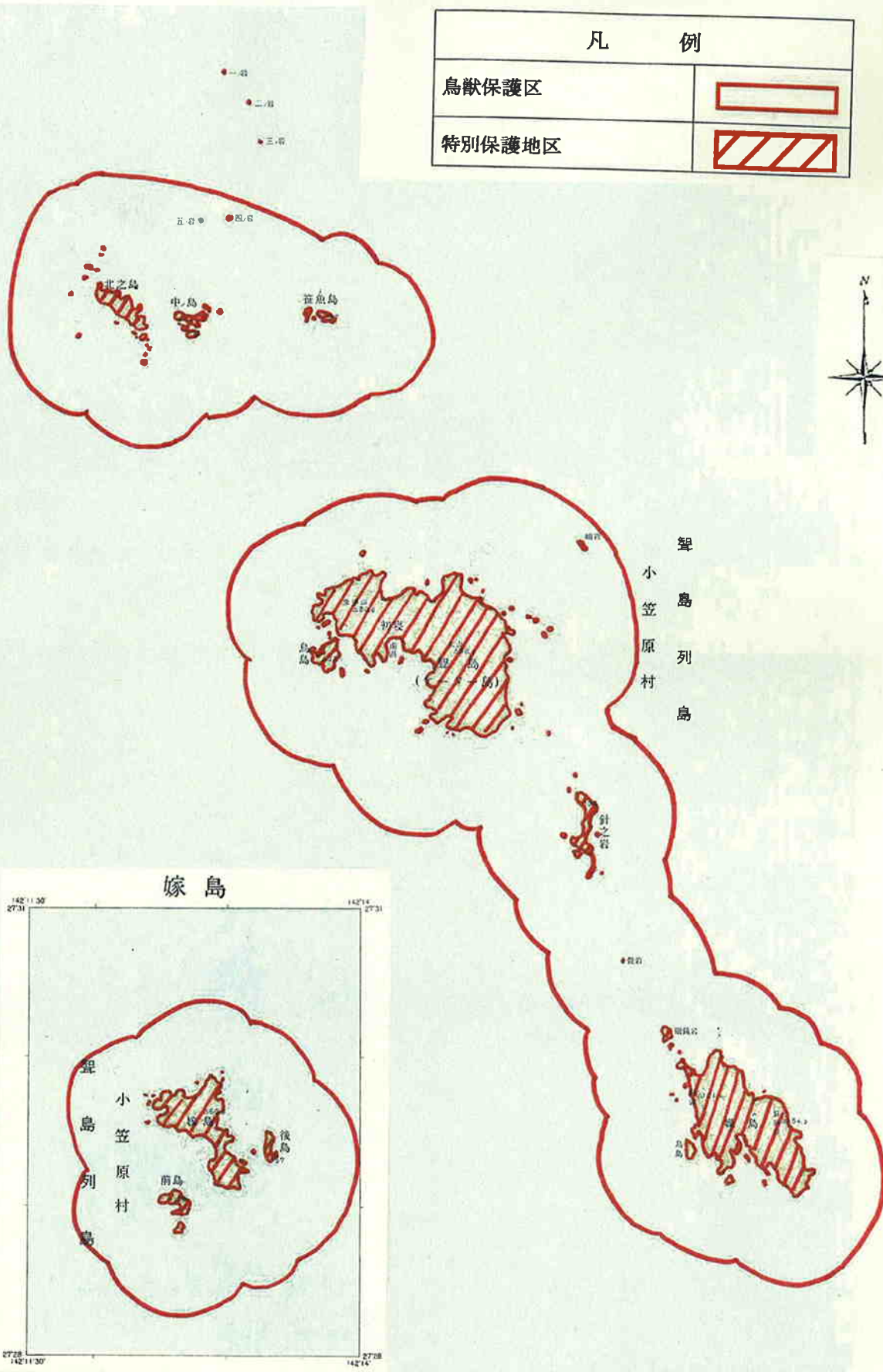
以上のことから、本保護区は現行の区域での更新を見込み、区域内の特別保護指定区域について一部追加指定を検討することとする。

5. 今後のスケジュール

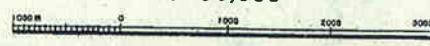
- ・平成 30 年度～：現況調査、土地所有者との調整、素案作成、関係機関・団体との個別の事前調整
- ・平成 31 年春頃：関係行政機関へ事前協議、意見照会
- ・平成 31 年夏頃：公聴会、パブリックコメント
- ・平成 31 年秋頃：中央環境審議会へ諮問、官報告示

国指定小笠原群島鳥獣保護区区域図（聳島列島）

凡 例	
鳥獣保護区	
特別保護地区	








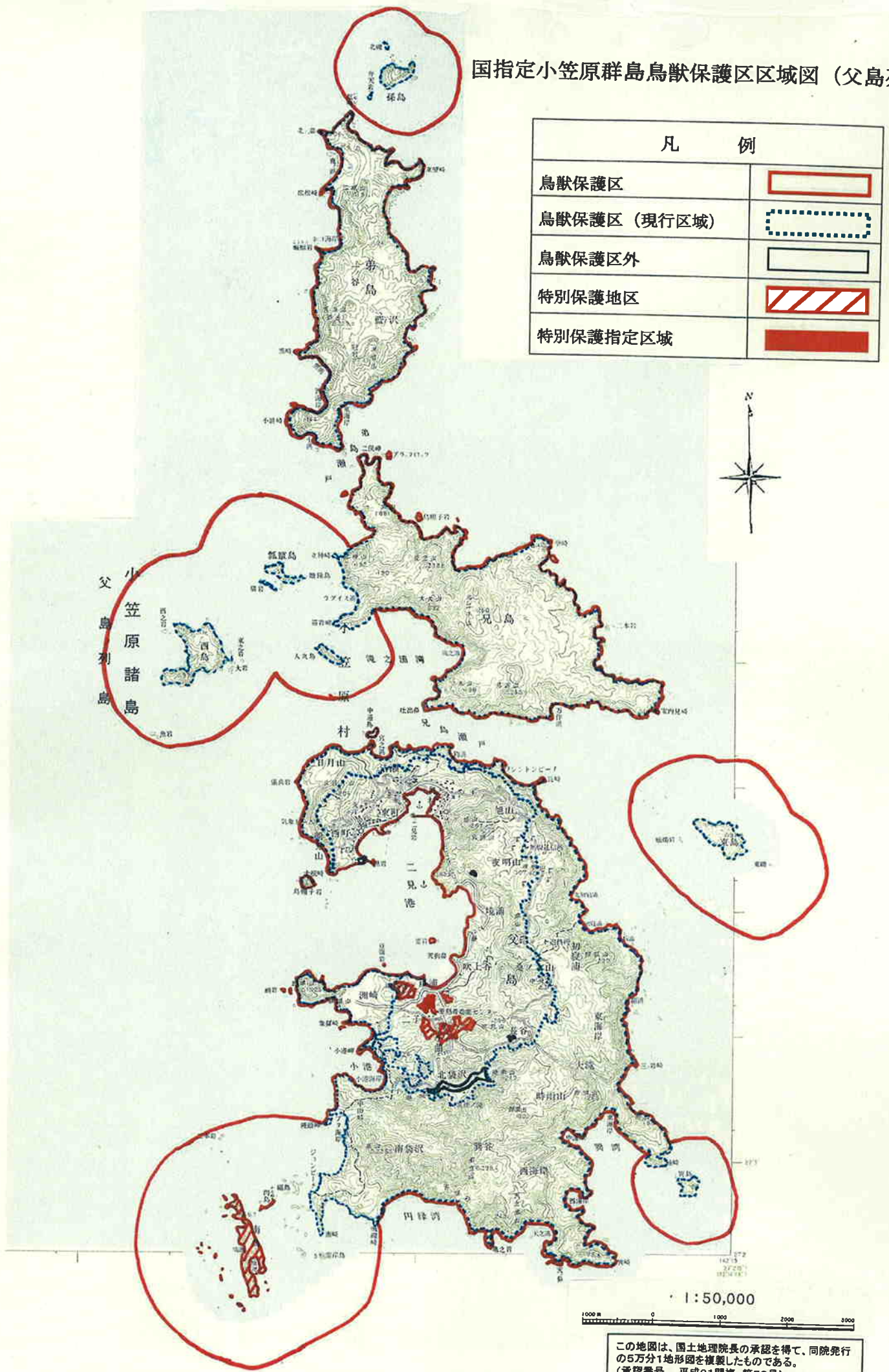
1 : 50,000



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図を複製したものである。
(承認番号 平成21関復、第59号)

国指定小笠原群島鳥獣保護区区域図（父島列島）

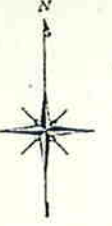
凡 例	
鳥獣保護区	
鳥獣保護区（現行区域）	
鳥獣保護区外	
特別保護地区	
特別保護指定区域	



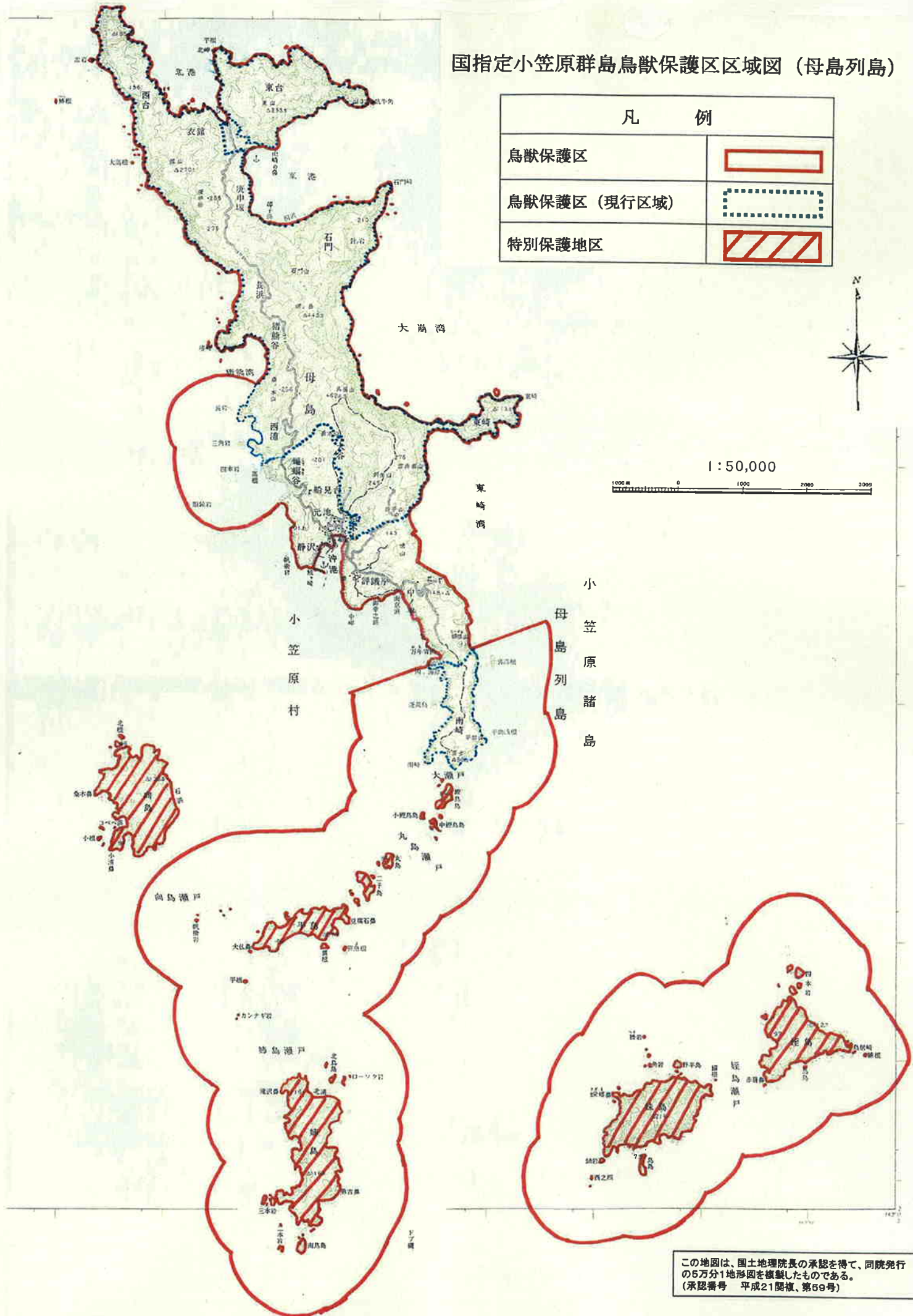
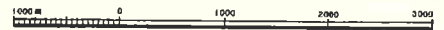
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図を複製したものである。
 (承認番号 平成21閣議、第59号)

国指定小笠原群島鳥獣保護区区域図（母島列島）

凡 例	
鳥獣保護区	
鳥獣保護区（現行区域）	
特別保護地区	



1 : 50,000



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図を複製したものである。
 (承認番号 平成21関複、第59号)